

6月には社行会を開いた（右から中日コプロの本多誠之社長、吉川選手、永井選手、ホンダロジコムの本多敦社長）



男子ホッケー2選手、必勝誓う

中日コプロHD2社から五輪代表

23日の東京五輪の開幕がいよいよ迫ってきた。ビルメンテナンスや運送など総合サービス事業を手掛ける中日コプロホールディングス（HD、本社名古屋市中区）からは、グループの2社から男子ホッケー日本代表に2人が選出された。吉川貴史選手は、ビルや工場の清掃・メンテナンスなどを手掛ける中日コプロ（本社名古屋市千種区）に所属。永井祐真選手は、物流サービス事業を担うホンダロジコム（本社春日井市）に所属している。6月に中日コプロHDの本社で開いた社行会では、両選手がグループの経営陣や社員らを前に必勝を誓った。

（菊地治滋）

男子ホッケー日本代表（世界ランク15位）は、53年ぶりに五輪に出場する。初戦は24日に世界ランク1位のオーストラリアと対戦する予定だ。

吉川選手のポジションはゴールキーパー。日本代表メンバーは16人で、ゴールキーパーの代表枠は1人とこの狭き門だが、体を張ったガッツあふれるプレーで見事に代表の座をつかんだ。

吉川選手は「選ばれたか

らにはしっかりと結果を出したい。今まで五輪を目指した先人たちの思いも背負って、夢の舞台に挑みたい」と抱負を語った。

一方の永井選手のポジションはミッドフィールダー。コート縦横無尽に走ってチームの勝利に貢献するスタミナやスピードが持ち味だ。姉の永井友里選手と永井葉月選手も女子ホッケー日本代表に選出されており、3きようだいそろって五輪の大舞台に臨む。

祐真選手は「ホッケーはマイナー競技といわれているが、結果を出せば競技人

口も増えて活性化されると思う。絶対にメダルを獲得できるように頑張りたい」と意気込んだ。

両選手が所属するグループ会社2社では、選手が安心して練習に専念できるように、サポートを充実してきた。中日コプロの本多誠之社長は「結果も大事だが、最大限の力を発揮して、夢の舞台で伸び伸びと活躍してほしい」とエールを送った。ホンダロジコムの本多敦社長は「（五輪代表に）選ばれたメンバームいるので、そうした人たちの分まで一生懸命プレーしてもらい、悔いのないよう頑張ってもらいたい」と期待を込めた。

夢の舞台に53年ぶり出場